

平成 29 年 12 月 8 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 茨城県立竹園高等学校 高地雅光
2. 講師氏名: Dr. Marco Tulio COELHO QUINTINO
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 29 年 12 月 5 日 (火) 16:00 ~ 17:15
5. 参加生徒: 1 年生 10 人、 2 年生 2 人、 3 年生 0 人 (合計 12 人)
備考: (例:理数科の生徒) 1 年生は文理区別なし, 2 年生は理系普通科
6. 講演題目: What do you mean by random? Randomness, Quantum Mechanics, and (Non)-Locality.
7. 講演概要:
 - ・出身国の話や経歴、なぜ研究者の道を選んだのかについて
 - ・ゲーム(CHSHゲーム)を通して真のランダム性とはどういうものかについて
 - ・量子暗号通信や量子マネーといった具体例を通して、研究分野の応用例や将来像について
 - ・英語を学ぶ意義について
8. 使用言語: 英語(日本語も交えながら)
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 15 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演と生徒を交えたミニゲーム
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
なし
10. その他特筆すべき事項:
後日、マルコ博士より生徒達へ宛てたメールを頂いたので、生徒へ配付した。